

まちが好き 共に生きて 笑顔あふれる やまつりまち

3

March
2022

やまつり

Public
Relations
Yamatsuri

令和4年3月4日発行
(毎月第1金曜日発行)
No.732

広報

【巻頭記事】(p2-5)

開館15周年記念事業実施

【Health information】(p8-9)

新型コロナウイルスに
感染した時の対応

【行政NAVI】(p10-11)

一定以上の所得がある方の
医療費窓口負担割合が変わります

【地域おこし協力隊活動日誌 VOL53】(p12)

Main presenter 影山隊員



図書館だより

卒業生のみならず、
おめでとう!

卒業シーズンを迎え、新生活はもうすぐ！
心機一転、春休みは読書で一足先に新しい世界と出会おう♪

Text & Design: 平本晴香 (矢祭町地域おこし協力隊)



PICK UP /

2022.2.20 Sun. 14:00 - 16:00

春の絵本とコーヒーと共に、 図書館の未来を考える



図書館特別書庫にて、読書推進リーダーと地域おこし協力隊による「季節のおはなしかい×IDOBATA スタンド」を開催しました。リーダーさんの春をテーマにした読み聞かせを楽しみながら、IDOBATAさんのドリンクを味わいました。「ロゴデザインプロジェクト」の一環として、参加者みんなで理想の図書館アイデアを出し合うポスター作りも開催しました！ 大人から子どもまで、15人の自由な意見が集まりました。図書館内にて展示中です。是非ご覧ください。

EVENT /

3.17
THURSDAY

もったいない図書館 特別書庫

大人のためのおはなしかい

2022.3.17 Thu. 10:00 - 12:00

大人の方向けに絵本や論語の読み聞かせ、工作などのワークショップを行います。

3.20
SUNDAY

もったいない図書館 特別書庫 *変更する場合あり

季節のおはなしかい

×IDOBATAスタンド(仮)

2022.3.20 Sun. 14:00 - 16:00

読書推進リーダーが選書した季節の絵本の読み聞かせと、地域おこし協力隊のIDOBATA スタンド(仮)によるコーヒーなどのドリンク提供、ワークショップを行います。

NEXT MONTH

もったいない図書館 特別書庫

JR 水郡線 東館駅前 *変更する場合あり

あかちゃんおはなしかい /

季節のおはなしかい

プレママ・プレパパおはなしかい

×IDOBATAスタンド(仮)

2022.4.7 Thu.

10:00 - 12:00

2022.4.17 Sun.

14:00 - 15:30

4月23日(日)は、矢祭子ども読書の日

当日は図書館にてスペシャルイベントを計画中です。

詳しくは次号をお待ちください!

INFORMATION ● 今月の休館日：毎週月曜日 お問い合わせ：矢祭もったいない図書館 ☎ 46-4646 FAX: 57-7500

記念事業実施概要

- ①矢祭町読書活動の推進に関する条例
(令和3年12月10日可決)
 - ・「読書の町矢祭宣言」
 - ・町民周知制作
- ②柳田邦男先生講演会実施
「矢祭町読書の町づくりへの取り組みについての提言」
- ③口笛演奏CD(図書館の歌)制作
口笛奏者▶高木満理子さん
- ④図書館看板制作
制作者▶平本晴香隊員(地域おこし協力隊)
- ⑤図書館案内パンフレット制作
製作者▶平本晴香隊員(地域おこし協力隊)
- ⑥記念イベント実施
「読書の町矢祭」宣言朗読、「図書館をひらくロゴデザインプロジェクト」発表等
- ⑦令和4年度子どもの読書優秀実践校・図書館・団体(個人)に対する文部科学大臣表彰推薦書提出(令和3年10月提出)

15th
Anniversary

思いをつなげ もっと町へ ひらいた図書館へ

矢祭もったいない図書館

開館 15 周年記念事業実施

15年間の感謝を込めて

全国より寄贈を受けて開館した矢祭もったいない図書館は、平成19年1月14日に開館し、令和4年1月14日に15周年を迎えました。善意により寄贈された方々に感謝するとともに「読書の町矢祭」を発信してきました。読書の町づくり推進事業として取り組んだ「子ども司書講座」では127名の子どもの司書が誕生し、読書推進リーダーとしても活動しています。また、家族で絵本づくりをしようと呼び掛けた「手づくり絵本コンクール」は、全国からの応募総数が2,174点となるなど、読書の町づくり推進事業に取り組むことができました。15年間の支援に感謝するとともに、これからも読書の町づくり推進事業に取り組む中で15周年を記念した事業を実施していきます。

Q&Aで振り返る 15年の歴史

Q 「もったいない図書館」は、いつ開館しましたか？
A 2007年(平成19年)に開館しました。

Q どうして「もったいない図書館」ができたのですか？
A 町には、図書館がなかったため、多くの町民から「図書館をつくってほしい」との要望に応じるためにつくりました。

Q 「もったいない図書館」の本は寄贈されたと聞きましたが、本当ですか？
A 本当です。人口の少ない小さな町の工夫として、全国に「自宅にある本を矢祭町へ送ってください」と呼びかけて図書館を開館するのに必要となる本を集めました。また、これは「もったいない運動」の一環として行い、開館時には寄贈者3,500人から294,000冊が蔵書されました。

Q 「もったいない図書館」の名前は、どうしてつけたのですか？
A 本を贈っていただいた全国の方々の善意や想いに感謝し、子どもたちに物を大切にすることを育んでほしいと願い「矢祭もったいない図書館」としました。

Q 「子ども司書講座」は、矢祭町が全国で初めて実施したのですか？
A 読書の楽しさを伝える子ども司書育成の取り組みとして全国で初めて実施しました。「子ども司書講座」は平成21年度から始まり、今年度は第13期生の養成を行いました。

Q 「手づくり絵本コンクール」はいつから始まりましたか？
A 平成21年度から始まり、令和3年度には13回目の実施となりました。また、応募総数は第1回から第13回までに約2,174点の応募がありました。

Q 「ビブリオバトル大会」はいつから始まりましたか？
A 平成29年6月から図書館と地域が一体となって始めた取り組みであり、現在までに15回開催しています。

図書館をひらく ロゴデザインプロジェクト

Text & Design
平本 晴香 (矢祭もったいない図書館 地域おこし協力隊)

読書の町・矢祭の図書館を さらに魅力的で町に開いた場所へ

もったいない図書館では、開館15周年を記念した事業の一環として、地域おこし協力隊主導で「図書館のロゴを、町民と一緒に作るプロジェクト」を実施しています。

子ども司書講座を卒業し、図書館で積極的に活動している読書推進リーダーを中心に活動を行なっています。子どもたち主体で町民から図書館への意見を募集したり、どんな図書館になるといいか考えたり、子どもが矢祭の未来を町民と共に考え、発信していくことが目標です。



企画スケジュール



読書推進リーダーとして誇りをもって取り組みたいです。

読書推進リーダー 深谷 凜さん (矢祭小)



読書推進リーダー 熊田 紗也香さん (矢祭小)

図書館を皆様の大好きなものの一つにしてもらえるように頑張ります



もったいない図書館へのみなさんの意見を募集します!

この度プロジェクトでは、「もったいない図書館のこんなところが好き!」「これからもっとうなってほしい!」といった、みなさんの率直な意見を募集いたします。(アンケート所要時間: 全部で3問、5分程度)

QRコード、または右記 URLからアンケートへの回答をお願いいたします。また、もったいない図書館カウンターにも回答用紙を設置していますので、お立ち寄りの際はぜひお気軽にご意見をお寄せください。

みなさんの意見が、ロゴデザインとして目に見える形になり、これからの図書館を未来に繋ぐ目標になります! ご協力よろしくお願いたします。

回答はコチラ!



矢祭町読書の町づくりへの取り組みについての提言

ノンフィクション作家 柳田邦男先生

令和3年12月10日(金)、矢祭町「子ども読書の町づくり」のひとつとして、矢祭もったいない図書館手づくり絵本コンクール審査委員長、ノンフィクション作家・柳田邦男先生を講師に迎え、講演会を開催しました。以下、講演会でお話いただいた内容を要約してお伝えいたします。

柳田邦男先生と矢祭町との交流のきっかけは、旧東館小学校児童が、絵本「ヤクーバとライオン」の翻訳絵本の感想文を送ったことでした。

柳田先生ご自身が読書への関心を持つきっかけとなったのは、小学生の頃、病気をして家にいて退屈だった時に、近所の同級生が貸してくれた「三銃士」の本を読んだことでした。また、戦争中、母親の実家にあった「古典落語全集」を読むことで、父親を亡くした喪失感が薄れたという経験も大いに影響したそうです。

「絵というのは、言葉以上に表現するものがある。」
「少年時代は、どんなものでも興味関心を持ちます。そのきっかけをつくってくれる人がいればいい。」
幼少期からの絵本との出会いにより興味関心が高まってきます。家庭環境により違いがありますが、本との出会いのきっかけにつながれば良い。

毎年、やまつりこども園で年長児を対象におはなしかいをしています。花や木の実・果物の実物をさわることにより感触や香りを楽しみ、遊びながら集中力を高め、実物の絵を描きます。「遊ばせる→集中力を高める→お絵描き(ほめる)→感動する」多くの経験や出会いが大切です。

矢祭町内にも身近なところに絵本を設置し本への関心を高めて欲しい。きっかけは、いつできるかわからない、きっかけを創って欲しい。もったいない図書館と学校が連携した読書の環境づくりは大切です。

また、赤ちゃんがお腹の中にあるうちからのブックスタートもきっかけとなります。読書の町づくりのキーワードは、「乳幼期からの読書がきっかけづくり」です。読書の町コーディネーターの役割が期待されます。



矢祭子ども読書の日

4月23日

矢祭読書の日

毎月第3日曜日及び
10月1日～31日

本を読むことは、言葉を学び、感性を磨き、表現力を豊かにします。乳幼児期からの読み聞かせは、多くの言葉を覚えることにつながります。

親子で、家族で読書を楽しみましょう



矢祭町、矢祭町教育委員会、矢祭もったいない図書館
矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会

読書の町矢祭宣言



私たちは、先人から享けた郷土・矢祭町を将来にわたって子々孫々に引き継ぐために、町民一人一人が郷土を愛し豊かな文化的教養を培い、書物に親しみ、問題解決を書物と相談する気風を育てることにある。読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力、創造力を育みます。

家庭と地域に読書の輪を広げ、心豊かな人生を育む読書の町を目指し、ここに「読書の町矢祭」を宣言する。

記

- わたしたちは、毎月第3日曜日を「矢祭読書の日」とし、読書の輪を広げます。
- わたしたちは、乳幼児期から絵本を通し、本が身近に感じられるように取り組みます。
- わたしたちは、夢を持ってたくましく成長できるよう、朝の読書に取り組みます。
- わたしたちは、読書の楽しさ、大切さ、心の豊かさを実感できるよう取り組みます。
- わたしたちは、本との出会いを大切に、笑顔あふれる読書の町を目指します。

令和4年1月10日

福島県 矢祭町